

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 2019年4月18日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690100393
法人名	医療法人 友志会
事業所名	グループホーム 良友
所在地	鹿児島県鹿児島市玉里団地二丁目5番1号 (電話) 099-229-8222
自己評価作成日	2019年3月1日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/">http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	2019年3月27日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

1階に循環器内科クリニックがあり、医師・看護師が居り、クリニックは在宅療養支援診療所の届出をしており、月2回の訪問診療を受ける事が出来るため、安心して預けられるとの御家族方からの御意見を頂いている。  
スタッフは正職員が多く、落ち着いたケアサービスを提供している。  
看取りを行っているため、死亡退居される時、御家族に感謝されている。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は母体である医療機関の2階にあり1ユニットのグループホームである。1階部分が内科クリニックでかかりつけ医である。利用者や家族の医療面における安心感につながっている。
- ・重度化や終末期については家族のほとんどが最後まで施設での生活を希望し、ターミナルケアの事例もある。
- ・母体医療機関は在宅療養支援診療所として地域の中で福祉と医療、両面での中心的な役割を担っている。
- ・災害時には法人内の施設間の協力と地域住民の協力体制も整い、地域住民の避難場所として備蓄も十分に準備している。
- ・町内会に加入しており、夏祭りや敬老会などの地域行事への参加や中学生の体験学習や地域ボランティア、施設見学や介護相談などを受け入れている。
- ・「目配り・気配り・心配り」をモットーに残存機能を活かしてゆったりと笑顔の絶えない事業所を目指して、ケアに取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	スタッフルームに理念を掲げ、スタッフは常に再確認して実践している。また地域の民生委員や地域に住むスタッフから情報を得て、参加出来る取り組みなどを検討している。良友で行う行事には招待し、一緒に楽しんで頂いている。	理念はスタッフルーム、玄関に掲示、朝礼時の読み合わせや会議時に確認と振り返りを行い理念に沿ったケアを実践している。「目配り・気配り・心配り」をモットーに心と心の交流を心がけている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	坂元中学校の生徒が職場体験学習に来訪し、3つのフロアーをまわって利用者との交流を楽しんで貰った。また卒業生も夏休みを利用してボランティアをしたいと要請があり、受け入れて、一週間ほど御利用者のお世話をして頂いた。薬や買い物も御自身で支払い等をして頂いている	町内会に加入、会議参加や回覧板で情報を共有している。地域の夏祭り参加や中学生の体験学習・教職員の地域貢献研修の受け入れを行っている。地域住民からの相談を受け入れたり、施設行事への参加があり、近隣住民との日常的な交流がある。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	高齢化が進み、クリニックの患者も含め介護相談、入居相談に応じている。地域の低所得者受け入れ先となる施設造りなど、民生委員に行政への働きかけを行うよう提案やアドバイスを行った。御家族へも取り組みの成果を都度報告し、共有して頂いている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>地域包括のスタッフや民生委員から地域の情報を頂き、地域参加に向けた取り組みなどを検討している。また他施設などの情報や御意見を頂き、内容や運営についても参考にさせて頂いている</p>	<p>運営推進会議は系列グループホームと合同で開催している。利用者の状況や行事・研修などの活動報告、身近なテーマを取り上げ意見交換を行っている。出された意見や提案など会議録で職員へ周知し話し合いでケアや運営に反映させている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>法改正や解らない事等、担当者に相談したり助言を頂いたりしながら連携をとっている。また地域の民生委員や包括支援センターなどへ状況をお伝えしている</p>	<p>申請や書類関係で出向いたり電話で相談や助言をもらい連携を図っている。集団指導への参加や市からの研修会には積極的に参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>やむを得ず必要な時には主治医へ相談し、御家族への御理解・御協力を頂き、一緒に話合って実施しているが、連携をとり極力拘束をしない方向で職員一同取り組んでいる。また都度状況をお伝えし、再検討行う等、廃止に向けて取り組んでいる。</p>	<p>指針・マニュアルがあり、身体拘束廃止委員会が中心となり3ヶ月毎の会議と研修会を開催、禁止となる具体的な行為、事例検討を含め、職員の理解と周知を図っている。言葉による拘束を含め身体拘束ゼロを実践している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員に給料を支払って下さっているのは利用者様方であるという意識のもと、利用者様への虐待はあってはならないと、職員は皆理解している。また職員間で言いやすい関係性を持ち、評価し合っている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	パンフレットなどを読み、研修をして、御利用者の権利や成年後見制度について学んでいる。また御家族の要請があった際には、必要な情報を弁護士などへお伝えしている		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	管理者から御家族へ、契約時に重要事項説明書をもとに質問を受けて説明し、納得して頂くように努力している。その他変更などがあった際にも、都度説明、対応している		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会時に御意見や御要望を頂くように努めている。またケアプランの更新時や、その他会議、家族会などでも御意見を頂くようにしている。御利用者からは都度意見を頂き、御要望にお応え出来るよう調整したり、状況を勘案し、対応している	利用者からは日常の関わりの中から思いを把握している。家族からは面会時や運営推進会議・家族会参加時に意見や要望を聞く機会を設けている。出された意見や要望は、職員間で共有しケアに反映させている。アルコール飲酒希望や新聞購読希望等を反映している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	朝礼や申し送りなど、職員の意見を皆で聴き、検討する機会を設けている。管理者自らも職員の意見を伺い、また都度職員からの積極的な意見を頂けており、現場への取り組みや運営に関して反映させている。	施設長や管理者は日ごろから職員とのコミュニケーションを大切に考え、年1回の個人面談を行い必要時には随時個人的に面談に応じてアドバイスをしている。出された意見や提案は話し合い、男性職員雇用で運営に反映している。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	プライベートや体調などに応じて都度話し合い、職員個々が仕事を継続しやすいよう調整している。また興味や関心に応じた役割を設け、現場に活かして賞っている		
13		○職員を育てる取り組み  代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	理事長自ら職員の成長を見守り、注意と助言を行い、内外の研修を受ける機会の確保を図り、職員の仕事に対する意識の向上に努めている。クリニックの勉強会にも参加する機会を設け、共通認識を深めている		
14		○同業者との交流を通じた向上  代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同一敷地内のグループホーム玉里へ訪れる機会をつくり、多くの御利用者の様子を観られるようにしたり、職員のトレードなども取り入れ視野が狭くならないようにしている。クリニック看護師の意見も参考にしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居された後の数日間は御利用者は環境の変化に戸惑っておられるため、特に声掛けをし、御家族に替わり信頼出来る関係の構築に努めている。また日々職員間で密に情報のやり取りを行い、変化を把握し、対応出来るように取り組んでいる。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	御家族も同様に不安や戸惑いもある中での利用である為、毎日の状況や変化を都度報告し、また御家族からの情報を参考にしながら対応法を検討する等、一緒に御協力・理解を頂きながら取り組んでいる。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	御利用者の環境の変化に伴う心身の状況などを観察し、グループホームで出来る限りの支援や取り組み・ケアを職員や御家族と話し合い実践に繋げている。また地域資源が活用出来るよう民生委員等に情報を頂いている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	洗濯物を干したり畳んだり片付けたりし、またこれまで培ってきた興味のあるものを生活の中で活かせるよう引出し、御利用者同士で相互作用を得られるよう支援し、それを継続している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	御家族もこれまでに大事な人の認知症という大きな変化に想い悩みながら在宅で支えてきたという経緯を受け止め、尊重し、入居してからの生活もその関係が変わることなく愛で満たされ充実するよう、支援している		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	在宅時に通われていた教室や趣味活動の友人知人の来訪や手紙や電話での支援、贈り物があった時は、写真付きメールや電話でお礼をお伝えする等、御本人が交流出来る環境を提供し、また御本人と一緒にいる。お祝事やお悔やみ事も御家族協力にて参加頂いている	アセスメントや家族からの聞き取り等で情報を把握し、生花教室や習字教室の友人・知人の面会が多く、お茶を出したり食事を一緒に摂ってもらい、面会に来やすいよう配慮している。近隣商店での買い物や地域行事への参加、電話の取次ぎや手紙の支援・一緒にポストへ投函に行く等、家族の協力で祝い事や法事への参加で、馴染みの人や場所との関係継続を支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	御利用者同士、作業を通じて相談しながら、またお世話をしたり、居室まで声を掛けに行き迎えを行って頂く等、相互に補い合える関係が出来ている。職員は心配りや配慮を行っている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院先に代わるがわるお見舞いに行ったり、退居後の入居先に様子を伺い、御家族をはじめ職員との連絡協議を行っている。また御家族へも治療後の受入れ先として、何時でも相談出来る窓口を置き、それに応じている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	御本人の希望に応じて、御家族の意向も含め都度検討している。重度の方は、希望や意向の把握が困難である為、状況を勘案したり、御家族の御意見も伺い、対応している	アセスメントや家族からの聞き取り、日常会話の中から思いや意向の把握に努め、介護計画に反映させている。生け花の水差しや洗濯ものたたみを一緒に行ったりしている。困難な場合は表情・しぐさ・家族の意向を踏まえ、本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時にお話を伺い、また経過と共にできるだけ生活に取り込めるようにしている 更に地域の資源を活用出来るよう情報収集や対応に努めている		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	御利用者のしぐさやお言葉、状況を勘案し、皆で共有し対応している 都度情報をもとに支援内容を検討し、経過を記録に残すなどして再度話合う機会を設けている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	御本人にとってより良い生活が送れるように、スタッフは意見を出し合い、介護支援専門員が介護計画を作成している 御利用者の変化や対応の必要性について都度話し合い、支援内容に反映させている	毎月のモニタリング、6ヶ月毎の見直しを行っている。家族の面会に合わせて担当者会議を計画、本人・家族の意向、主治医の意見や職員の意見を反映させた介護計画を作成している。状態変化時には随時、見直しを行い、現状に即した介護計画である。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日日勤帯、夜勤帯に分けて介護記録を記入している 特に重要な点については、朝の引継ぎの時に報告し、情報を共有している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	一人一人の状況に応じてスタッフ間で声を掛け合いながら工夫し、ニーズに対応している どうしたら良いかわからない時は、管理者に電話で相談している		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	御要望に応じて外出に応じている 買物も見守りし、御自身でレジを通す等して頂いている 遠方になる場合には御家族の協力を頂き対応して貰い、生活が単調にならないようにしている		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	1階に運営母体の内科クリニックがあり、在宅療養支援診療所として月2回の訪問診療を受けられる為に、御家族も安心して入居させられると仰って下さる主治医と常に連絡できる体制にもある為、御利用者の異変時に早期に対応出来ている 主治医の指示に応じて、受診の支援も行っている	母体医療機関が主治医となっており、月2回の往診と1階が内科クリニックであり、24時間連携体制が整っている。急変時の対応や専門医受診は家族の協力を得ながら、必要時には職員が対応し、適切な医療が受けられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	1階クリニックの看護師が主治医と共に訪問し、また採血等に訪れる為、相談し、適切なアドバイスをもらえる為、安心してケアが出来ている また都度状況を報告し、一緒に御利用者の把握に努めている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時、退院時には病院担当者と連絡協議を行い、ケア内容の引継ぎを行い、継続的に支援が行われるよう努めている スタッフは入院中は代わるがわるお見舞いに伺い、御利用者や御家族の支援を行うと同時に、状況の把握に努めている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	御家族には入居の際や重度化、緊急性等、必要に応じて説明し同意を得ている 看取りを希望される御家族も多く、入退院を含め終末期をどうしたら心穏やかに過ごせるか、主治医を始め、医療とも連携をとりながら、支援に取り組んでいる	指針・マニュアルを基に契約時に説明し同意を得ている。状況に応じて主治医を交え話し合いを持ち、本人・家族の希望に応じた支援を行っている。看取りの事例がある。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時にはすぐに管理者へ連絡すると共に、応急処置や初期対応について学ぶ機会をつくっている 緊急に備え早めに主治医へ相談・報告し、指示を頂いている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>良友の建物は近辺の建物に比べて新しく、鉄筋造りであるため、火災以外は外へ避難せず、建物内にとどまるよう、訓練している</p>	<p>年2回、内1回は消防署指導のもと避難訓練を実施している。近隣住民の協力も得られ、法人施設の協力体制も整備されている。車いす利用者の非難対策等、消防署の助言を得て対応している。緊急通報装置やスプリンクラーの設置がある。備蓄は水・米・カンパン・黒砂糖・塩・ミキサー食・紙コップ等やオムツ・ポータブルトイレも用意している。地域住民の受け入れを想定し多めに準備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様方は皆それぞれの人格を持ち、誇りをお持ちなので、言葉使いや態度に気を付けて、失礼のないような対応を心掛けている	接遇や倫理規定など定期的に勉強会を開催し、確認と意識づけを行っている。マニュアルを基に排泄や入浴介助の支援を行い人格とプライバシーに配慮した声かけや対応を心がけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	声を掛けて希望を聴いて、自己決定出来るよう働き掛けている		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	様々な選択肢の中で、御自身の役割を理解して頂き、御本人の意思を確認して、目的をもって生活をして頂いている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	持ち込まれた衣類をその日の気温や湿度などを考慮しておしゃれをして頂けるよう支援している 毎日の化粧やお肌のお手入れの時間も大事にしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	準備や片付けなど出来るところを協力して頂きながら御利用者と一緒にやっている 配置もその時の御利用者の状況に合わせて配慮し、食事やお茶が楽しめるようにしている 御家族が一緒の時には、ゆっくりと団欒出来るように環境整備や気配りしている	利用者の力量に応じて準備や片付けなど一緒に行っている。1日30品目の食材を取り入れ、おせち料理・クリスマス会などの行事食や盛り付けの工夫、個々の状態に応じた食事形態、テーブルの配置を変更する等、食事が楽しめるよう工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	厚生労働省の指導による1日30品目以上の食材を使った調理を心掛け、また体調や状態に考慮し、柔軟に対応している ミネラル入りの黒糖茶等を利用し補水にも気を配っている		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	歯科衛生士にも相談したり指導を受けながら、用具を使い分けて個別に対応している		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	重度化してくるとおむつを利用する方も増えたが、トイレで排泄する習慣を可能な限り継続し、気持ちよく過ごして頂けるよう支援している	重度化しオムツ使用者が増えている状況だが、排泄チェック表で排泄パターンの把握を行い、利用者のタイミングで声かけや行動を把握しトイレ誘導している。パットの種類の検討、ポータブルトイレの使用等、個々の状態に合わせて自立に向けた支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	果物や野菜の種類を多くする等、調理に工夫している 簡単に下剤を使用せず、運動を取り入れたり、水分を摂取する等、御利用者にも意識をもって頂き、一緒に取り組んでいる		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴の予定を事前に組んでおき、声掛けにより本人の意思を確認してから入浴して頂いている 御利用者の状況や都合により柔軟に対応している	入浴は週2～3回、本人の希望に沿って行っている。その日の体調や気分により支援している。状況により清拭や足浴も対応している。拒否のある利用者は時間差や声かけの工夫、必要時には2人介助で対応する等、柔軟に支援している。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	馴染みの布団を利用している 食後など居室でゆっくりと過ごしたい方には、ペースを大事にしている 御利用者の状態に応じて適度に休息出来る機会も設けている		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	1人1人の薬の目的や容量など理解しており、間違いがないよう二重三重にチェックしている 必要時には主治医にも助言や指導を頂き、対応している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	今迄培ってきた事を活かしたり、脳活性に繋がる取り組みを個別で行っている 趣味活動や資格などを活かした作品造りなども手掛けている 1人1人の想いに応じて、対応している		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	近くの散歩やスーパーへの買い物は職員で対応し、お墓参りやドライブ等は御家族が支援して下さっている 地域の民生委員から情報を得て地域活動への参加を検討したり、ボランティアをお願いする等して活動の場を広げる努力をしている	日常的には天気の良い日は近くの公園への散歩や買い物へ出かけたり、年間計画で花見や地域の夏祭り・イルミネーション見物に出かけている。家族の協力での外出や外泊等、日常的に外出の機会がある。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自分の財布を持っている方は、買物では御自身でお金を払って頂いている ボランティアの方々や、面会に来られた方にお餞別をお渡しされる等、想い想いの使い方が出来るよう支援している		
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	携帯をお持ちの方以外はホームの電話を利用して頂いている 職員の携帯を使用し、会話をして頂く事もある 手紙を書きたい方は支援を行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	廊下やホールに造花や生花を飾ったり七夕飾りや正月飾りをレイアウトする等して、季節感を演出している 常に環境整備を行い、気持ちの良い空間造りを心掛けている	共用空間は明るく室温・湿度・採光が適切で空調管理が整っている。大きな窓からは商店街や人や車の往来を見ることが出来る。ホールには花や観葉植物が置かれており、壁には行事の写真が飾られている。廊下には所々にソファが置かれ、好みの場所でゆっくりと過ごせる環境となっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	話をしたい方、本を読みたい方、静かに外を眺めていたい方等々、御利用者の状況に応じて想い思いの過ごし方が出来るよう、環境空間の提供や対応を心掛けている		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	御家族の協力により、趣味で作られていた物、御主人や奥様との思い出の品等、馴染みあるものを持ち込まれて、1人1人個性的な空間が出来ている 個室である良さを十分に楽しんで下さっている	居室にはベット・エアコン・洗面台・床頭台が備え付けら、大き目の高窓で明るい。それぞれが馴染みの家具や家族の写真・手芸作品・カレンダーが飾られ、ぬいぐるみ等が置かれて居心地良く過ごせる環境となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	必要があれば目印や御案内になるものを利用する事もある 支障になるようなものは置かず、怪我がないように常に環境整備に努めている 廊下にもソファを置き、ゆっくりと寛いで頂いている		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない